

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年12月20日

計画の名称	京都府における良好な水環境の創造（その4）												
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	京都府												
計画の目標	下水道を整備することにより公共用水域の水質保全を図り、良好な水環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	19,950	A	19,950	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初	R9末	R11末
1	流域下水道の水処理施設の整備率を89%（R7当初）から93%（R11末）に増加させる。 流域下水道の水処理施設の整備率 現有施設の水処理能力／全体計画の水処理能力（472,800m3/d）	89%	89%	93%
2	流域下水道幹線管渠の圧送部の二条化率を73%（R7当初）から100%（R11末）に増加させる。 流域下水道幹線管渠の二条化率 圧送部の二条化延長／全体計画の二条化延長（6,736m）	73%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	京都府	直接	京都府	終末処 理場	新設	洛南浄化センター水処理 施設増設	処理能力175, 200m3/d→190, 2 00m3/d	八幡市	■	■	■	■	■	13, 480		－
	A07-002	下水道	一般	京都府	直接	京都府	終末処 理場	新設	洛南浄化センター汚泥処 理施設増設	機械濃縮80→130m3/h、B系消 化タンク12, 400→18, 600m3/d	八幡市	■	■	■	■	■	1, 900		－
	A07-003	下水道	一般	京都府	直接	京都府	管渠（ 污水）	新設	宮津湾流域下水道幹線汚 水管渠増設	L=902m、φ 250mm	宮津市、与謝野 町	■	■				340		－
	A07-004	下水道	一般	京都府	直接	京都府	終末処 理場	新設	木津川上流浄化センター 水処理施設増設	処理能力18, 600→21, 700m3/d	木津川市	■	■	■	■		1, 020		－
	A07-005	下水道	一般	京都府	直接	京都府	ポンプ 場	新設	木津川上流流域下水道中 継ポンプ場増設	排水能力11. 7→16. 9m3/min	木津川市	■	■	■	■		510		－
A07-006	下水道	一般	京都府	直接	京都府	－	－	調査・検討	汚泥処理共同化、W-PPP	管内一円	■	■	■			200		－	
A07-007	下水道	一般	京都府	直接	京都府	管渠（ 污水）	新設	木津川流域下水道幹線汚 水管渠増設	管渠増設	城陽市、宇治田 原町		■	■	■	■	2, 370		－	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-008	下水道	一般	京都府	直接	京都府	終末処 理場	新設	木津川流域下水道汚泥有 効利用施設整備	汚泥有効利用施設新設	八幡市	■	■	■			130	—	
											小計						19,950		
											合計						19,950		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 京都府における良好な水環境の創造（その4）

[illegible]